

参加してヨカッタ!

セミナー参加者に、ワークショップの感想や、今後どう役立てるかなどを聞きました。

### 危機感の薄れや「慣れ」は禁物!

中1と小4の子どもがいて、しよっちゅう学校から不審者情報がメールで届きます。それに慣れてしまって危機感が薄れていましたが、ワークショップでの意見交換を通じて、子どもの見守りも昔とはやり方に違いがあることを知り、気持ちが引き締まりました。

小林律子さん



### 地域での見守り、保護者の理解が不可欠



校区で子どもの見守り活動に参加していますが、新しい道やマンションなどが増えたことで地域の地理が変わり、新たな危険箇所の把握が難しくなっています。そうした場所の把握や子どもたちと顔見知りになっておくためにも、保護者の協力と理解が不可欠だと感じました。

松倉麻美さん

### 共有した情報を子どもや周囲にも伝えたい

私たちの住む地域でも、頻繁に不審者からの声掛けなどが発生しているので不安です。ただ、これまでは具体的にどうすれば子どもの安全が守れるのかわかりませんでした。ワークショップでさまざまな情報を共有したことで、子どもや周囲にも「伝える」ことができます。

田上英樹さん・香織さん夫妻



### 今回は、熊本大法学部・伊藤ゼミの学生たちも参加し、ワークショップを盛り上げてくれました!

- ◆ゼミで地域づくりについて学んでいますが、今日は現場の声を聞くことができ、とても新鮮でした / 池崎日南子さん
- ◆小学校によって防犯への取り組みや設備に差があることを知りました。今後の課題として考えていきます / 上原佑野さん
- ◆大学の講義だけでは得られない視点を聞けただけでなく、皆さんと意見交換ができるのも魅力。次回も参加します / 江村和夫さん
- ◆幅広い世代の皆さんから話が聞けました。住んでいる地域で、自分にできることを考えていきたいです / 木下秀誠さん
- ◆普段は話をする機会が少ない異世代の方たちと交流ができて、地域活動に関心が持てるようになりました / 豊福美希さん
- ◆地域に関する前向きな話だけでなく、行事等が年々減少しているという現実を知って驚きました / 濱田ありささん
- ◆現在、子育て中のお母さんの生の声を聞くことができ、新聞等で見るとリアルに、子どもの安全を考える機会になりました / 平田加奈さん
- ◆あいさつを交わすことが不審者に犯罪を起こさせない効果があると初めて知りました。私も積極的にあいさつしたいと思います! / 室原彩子さん



# 親だけでは守れない

## 各テーブルで“キーワード”を決め 子どもを守るための具体策を列挙

テーブル間の席替えをして行ったワークショップの後半戦では、各テーブルで子どもを守る上で必要なキーワードを決め、それに沿った具体策を挙げていきました。キーワードを「情報共有」としたテーブルでは、「子どもにスマホを持たせる」「家庭、地域、警察で不審者情報などを共有できる仕組みをつくる」「地域行事に参加し、地域の人に子どもの顔を覚えてもらう」などのアイデアが。

その後、各テーブルの代表者がキーワードや具体策を発表。水野さんによるまとめを行って終了しました。参加者へのアンケートでも、満足度が高かった今回のセミナー。ぜひ次回は、皆さんも参加してみませんか!



発表に向けて話し合いを進める各テーブルを回り、アドバイスをする水野さんと司会の荒木さん



班ごとの発表で挙がった、子どもの見守りに必要なキーワード

### どう守る? 子どもの安全 まとめ

#### 積極的なあいさつを!

あいさつは不審者に対する「監視」の意味もあります。目を見てあいさつされると、不審者は「顔を認識された」と思います。登下校時の子どもだけでなく、大人同士が積極的にあいさつを交わしましょう!



#### 地域の“有名人”に!

特に子どもの多い校区などでは、地域の人に子どもの顔を覚えてもらうのも大変。そこで、親が地域の有名人になれば、「あ〜、〇〇さん家の子」と認識され、登下校中なども意識して見てくれます。それには親が地域のために何ができるのかを考え、行動することが大切です。

#### 地域の整理・整頓・清潔・清掃

不審者が嫌うのは「地域の団結」。それは、町内の掲示板やごみステーションにも現れます。「古い掲示物がそのままになっていないか?」「ごみステーションが散らかっていないか?」を今一度確認してみましょう。



もっと知りたい! 熊本市 KUMAMOTO CITY まちづくり探検隊

第2回 かつたってみよう! まちづくり セミナー開催 参加者募集!

### テーマ

## 考えよう! 身近な防災 Part.1

~ハザードマップで災害を“見える化”~

すばいすでは、熊本市の地域活動を知ってもらう取り組み「まちづくり探検隊」の一環で、セミナー「かつたってみよう! まちづくり」を開催しています。9月9日から始まるセミナーは、「考えよう! 身近な防災」をテーマにした3回シリーズ。熊本地震以降、市民の防災意識は高まっていますが、それを具体的な備えや行動に結び付けるにはどうすればいいの。事例紹介やフィールドワークを通じて、一緒に学んでいきましょう!

講師・ファシリテーター 水野 直樹さん



一般社団法人スタディライフ熊本理事。FM791のパーソナリティとして活躍する傍ら、地域活動やまちづくりに関する講演活動も。自身も防災士の資格を取得。

司会 荒木 直美さん



熊本朝日放送「くまパワ」などに出演。漫画家・桜田幸子さんと「こそだてがかり」で子育て中の親への講演なども行う。まちづくりコーディネーターとしても活躍。

### セミナーの内容

#### 第1部 地域での防災の取り組み ~事例発表~

- 事例① 「小学校PTA主催の防災キャンプ開催」 託麻原小PTA会長 漆野和也さん
- 事例② 「地域防災の要・消防団の活動について」 慶徳校区消防団 山内要さん
- フリーディスカッション 事例発表の2人に講師の水野直樹さんをお交え、熊本地震後の市民の防災意識の変化などについて話し合います

#### 第2部 ハザードマップの作り方を学ぼう!

地域防災に欠かせないハザードマップの重要性や、その作り方についてワークショップ形式で説明します

### 次回以降の内容

- Part.2 12月1日(土)[予定] 「実践編:地域を歩いてハザードマップを作ってみよう!」
- Part.3 1月20日(日)[予定] 「企画編:ハザードマップの活用を考えよう!」
- ※Part.2, 3の日程については変更になる可能性もあります

### 募集要項

- 日時/9月9日(日) 10時~12時(9時30分受付開始)
- 会場/熊本日日新聞社(熊本市中心区世安町172)
- 定員/50名(親子での参加も可、申し込み多数の場合は抽選)
- ※参加者には参加証を発送します
- 対象/①熊本市に在住または通勤、通学する20歳以上の男女で、自分の暮らす身近な地域の防災に関心のある方
- ②できるだけ3回とも参加できる方

参加費 無料!

申し込み締切 8/29(水) 必着

■申し込み方法/●氏名 ●郵便番号 ●住所 ●年齢 ●電話番号 ●メールアドレス ●Part2, 3の参加可否を記入の上、下記の要項で、すばいす編集部までお申し込みください。

### はがき

〒860-8506 ※住所は不要です  
熊本日日新聞社 業務推進局営業企画部  
「かつたってみようまちづくり」セミナー係  
※個人情報は連絡のみに使用します

### FAX

096(372)8711

### すばいすHP応募フォーム

右記のQRコードから飛べます



お問い合わせ ☎096(361)3348(平日9:30~17:30) 主催 熊本市、熊本日日新聞社